

第四十二号



第33回 定時総会

愛媛県神道青年会

事務局

〒793-8555

愛媛県西条市西田甲797 石鎚神社内

TEL 0897-55-4044

FAX 0897-55-7242

巻頭言



愛媛県神道青年会会長
和 気 省 一

初夏の候、益々ご清祥の御事とお慶び申し上げますとともに、皆様ご承知のとおり神宮大宮司におかれましては、次期式年遷宮の御聴許を拝されご準備開始されますこと、重ねてお慶び申し上げます。

さて、去る四月初め東京都教育委員会は学校での国旗・国歌の扱いの正常化を求める通達に反して、卒業式で国歌斉唱の際に起立を行わなかったなどとして、都立の高校や養護学校、小中学校の教職員百九十六人を戒告、減給などの懲戒処分を行いました。その中で減給処分を受けた女性教員にいたっては、二〇〇二年四月の入学式で国旗、国歌に反対する才

リジナルデザインのブラウスを着用し、校長の「上着を着用するように」との職務命令に従わなかったとして、以前にも戒告処分を受けていたにもかかわらず、さらに今年の卒業式前にも「不起立宣言」なるものをしていたということです。

国旗、国歌をシンボルとして尊重する態度を生徒に育むのは、教育を指導する側の教師にはもちろんのこと、国歌斉唱の起立などは職務上の責務であるということはいまでもなく、この教師には教育の場において、生徒たちに正しい教育と国家観を育まんとする教育者としての矜持が些かでもあるのでしょうか。このことにより国旗・国歌法が制定された現在も、古い日教組の軀により教育が玩ばれているということが、改めて白日の下に晒されました。

白地に赤く 日の丸染めて

ああうつくしや 日本の旗は

と、日の丸の唱歌を「小学校」で習った記憶があります。今一度、日本の子供たちへの教育が、轍鮒の急なのではないでしょうか。

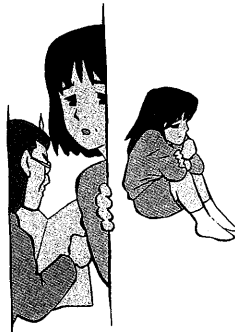
平成十五年 新年互礼会・新年研修会

去る平成十六年一月二十日、国際ホテル松山にて新年互礼会・新年研修会が開催されました。重信中学校教諭の天津寄章三先生を講師としてお招きし、「愛媛県における教育現場の現況」との演題で、青少年教育や歴史教科書問題にも触れながら、教師として現代の子供たちに何を教えるべきか、様々な経験談を織り交ぜ、わかり易くご講話頂き、我々が教育を受けてきた「学校」の体質が、現在では想像も出来ない程、様変わりしてきたように感じました。

又、新年互礼会の席では和氣会長より、最近の祈願を受けに來られる方の中には青少年の精神的な悩み(病氣)が増え、家族が心配し一緒に訪れる傾向も見られ、我々青年神職がこの講話で学んだことを、これからこの時代を担う子供たちの為に、青少年育成の為に、暖かい指導が

出来るように努め、常に自己研鑽を心がけて欲しいとの挨拶があり、その後参集の方と共に親睦を深め、盛会のうちに終了しました。

(早田 雅雄)



平成十五年度神道青年全国協議会 中央研修会

平成十五年度神道青年全国協議会中央研修会が神道青年近畿地区連絡協議会主催、大阪府神道青年会担当として去る平成十六年二月二十六日・二十七日の両日、大阪市はホテルニューオータニを会場に当会より和氣会長を始め十名の会員が参加しました。

今回の研修テーマ「伝統文化

の力く伝統芸能とその継承」と題し開講。大阪ならではの講師陣六名を迎え、研修会が始まり、第一講は皆さんご存知の濱村淳先生が「上方の文化と芸能」の講演、第二講では第一講の講師濱村淳先生と落語家の桂米朝先生・桂小米朝先生の「上方落語」について鼎談がありました。その後、桂米朝先生・桂小米朝先生による落語が上演されました。上方の文化圏は独創の文化圏を形成し、全国に影響を及ぼしてきた上方文化について分かり易く又、面白くご講演いただきました。翌日は「文楽」について人形師の吉田文吾先生・大夫の豊竹呂勢大夫先生・三味線の竹澤宗助先生三名のご講演・上演がありました。技芸を身につけた「人形」「大夫」「三味線」の三業が一体となつてつくる演劇は常に緊張感を保ちつつ、観てて圧倒されました。

この研修を受講し、上方文化の中でも日本を代表する伝統芸能の第一人者である方々の技に触れ、伝統を未来に継承していく使命を持つ我々青年神職にと

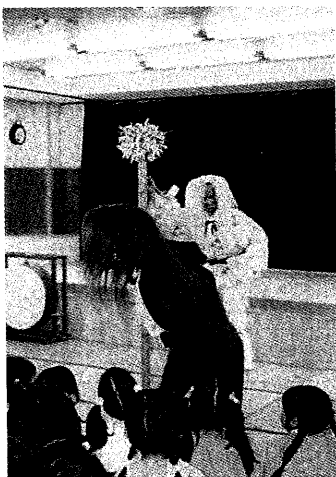


って大変意義深いものであり
ました。
最後にこの研修会の担当とし
て御尽力いただきました大阪府
神道青年会を始め神道青年近畿
地区連絡協議会の皆様には御礼
の言葉を申し上げ、ご報告と致
します。

(渡邊 平)

慰問 神楽

去る三月十日、毎年恒例とな
っている慰問神楽が宇和島市
の八幡幼稚園で開催されました。
当日は天候にも恵まれ、園児
は勿論、保護者の方々も多くお
集まり戴き、青年会の会員と共
に、毎年お世話になっていま
す伊豫神楽神奈岐会の皆様のご協
力を得て開始となりました。



園長さんより御挨拶と説明を
戴き、神奈岐会の方々には軽快
な弓の舞と勇壮で賑やかな鬼の
舞、そして青年会では雅楽・越
天楽の奉奏と、巫女による優雅

な悠久の舞が行われました。園
児にとってはおそらく神楽を見
るのも聞くのも初めてであり、
興味津々と目を輝かせ、楽しそ
うにしている姿は印象に残りま
した。

現代はパソコンやゲームなど
家の中で遊ぶ事が多くなり、日
本文化に触れる機会が少なくな
っているように感じます。

これまで青年会で行ってきた
神楽を通じて、子供達が伝統芸
能に触れ、日本文化のすばらし
さを勉強する機会を与えて、後
世に伝えて行く事も私達の役目
の一つであると感じました。

(渡部 太輔)



神道青年全国協議会 創立五十五周年記念式典斎行

春の風薫る四月二十二日、東京は港区にあります明治記念館にて神道青年全国協議会創立五十五周年記念式典が執り行われました。当会よりは和気会長を始め六名の会員が参加致しました。

第一部の記念式典には高円宮妃殿下の御台臨を仰ぎ、神宮大宮司 北白川道久様・神社本庁総長 工藤伊豆様を始め、多くの御来賓・先輩方のご臨席を戴きました。また、神道青年全国協議会藤山敬廣会長を始め神青協役員・そして全国各地の会員が参集し、凜とした雰囲気の中厳肅に執り行われました。式典の中では高円宮妃殿下より青年神職に対する期待を込めたお言葉を賜りました。また、御来賓の方々

より五十五周年の歴史を顧みての思い、これからの行くべき道標となつて戴きたいとの言葉を、そして神宮式年遷宮の御聴許を陛下より賜った旨、これから遷宮の第一歩が始まるとのお言葉を頂戴し、斯界の尖兵としてやらなくては、との思いに駆られました。そして御功績のあらわれました先輩方に五十五周年の記念表彰が授与されました。

第二部の記念講演ではアサヒビル（株）名誉顧問の中條高德先生をお招きし「日本の心」と題し、私達青年神職に対する提言を頂戴しました。これからの日本、そして日本人の行く先は神社界の双肩にかかつているとの心篤い御講話を拝聴し、先人の方々の思いを考える中で歴史に学ぶ日本人の生き方を伝える事が大事であると考えました。また、今でしか出来ない事を先送り

するのではなく、「今やらねば！」の気持ちを高め、行動をおこす事が重要であると実感しました。



その後第三部として祝宴が行われ、高円宮妃殿下におかれましては祝宴まで御台臨を賜りました。そして、賑やかに懇親を深め閉会となりました。

五十五年間の歴史の中で、積み重ねられてきた年輪を、これからの私達がより一層の大木にしていく為にはお互いの相互研鑽は勿論の事、日本における神職のおかれた立場、また、青年としてだからこそ行える事を考えて行かなければならない、と実感致しました。今後は単位会の中でもそれぞれの心を一つにして一歩一歩歩みつつ、神社界の為に邁進していきたいと感じる式典でありました。

(十亀 博行)

第三十三回定時総会報告

去る五月十日(月)に松山市内の国際ホテル松山に於いて開催されました。当日は、午後五時から二十五名の会員

の出席(委任状三十一名)により開会され、神宮遥拝・国歌斉唱・敬神生活の綱領唱和に続いて会長挨拶があり、その後、会長指名により議長が選出され、議案審議に移りました。

議案審議では平成十五年度の決算報告、並びに会務報告がなされ、また、次年度の予算・活動計画についての議案が慎重に審議され、すべて全会一致で可決されました。

その後、眞鍋監事の先導により聖寿の万歳を奉唱して滞り無く全ての日程を終了しました。

総会に引き続いては午後六時半より九名のご来賓の方々をお迎えして懇親会が開催され、会長挨拶の後の来賓紹介に続いて長曾我部延昭様(愛媛県神社庁副庁長)より御挨拶を戴きました。

続いて、波爾荘様(愛媛県

護國神社宮司)の御発声による乾杯が行われて歓談へと移った後、和やかな雰囲気の中かで宴もたけなわとなり、松浦正樹様(愛媛県神社庁副庁長)の中締めのご挨拶により楽しい時が終わりを告げました。

(武知 秀忠)



平成十五年 会務報告

平成十五年

起 平成十五年四月 一日
至 平成十六年三月三十一日

四月 二日 第一回役員会【伊豫豆比古命神社】
(十一名出席)

二十四日 神青協第五十五回定例総会
【神社本庁】(長曾我部副会長出席)

五月 七日 第二回役員会【国際ホテル松山】
(十二名出席)

七日 第三十二回定時総会
【国際ホテル松山】(二十三名出席)

並びに懇親会【国際ホテル松山】
(来賓含め三十五名出席)

十二日 神道青年四国地区協議会第一回役員会
【徳島県・大麻比古神社】

(和気会長以下七名出席)

六月 四日 第三回役員会【愛媛縣神社廳】
(十三名出席)

十日 女子神職会総会【ホテル奥道後】
(和気会長出席)

七月二十八日 第四回役員会【石鎚神社】
(八名出席)

八月 六日 神道青年四国地区協議会第九回総会
・研修会【松山市・国際ホテル松山】

・七日 (和気会長以下二十名出席)

七日 親睦ホーリング大会
【松山ファーストボウル】

(和気会長以下十六名参加、他三県より十一名出席)

二十八日 神青協夏期セミナー【神社本庁】
(矢野副会長以下三名出席)

九月 九日 神道青年四国地区協議会第六回
神道行法鍊成会【高知県・梶本神社】

(長曾我部副会長以下三名出席)

十日 神道青年四国地区協議会第二回役員会
【高知市】(矢野副会長以下五名出席)

初詣ボースター発送作業
【愛媛縣神社廳】

二十五日 第五回役員会【愛媛縣神社廳】
(八名出席)

二十七日 親月神楽の夕べ【保内町 三島神社】
(八名出席)

十月二十八日 神青協「聖寿奉祝の碑」奉告祭
【波照間島】(長曾我部副会長出席)

三十日 第六回役員会【伊豫豆比古命神社】
(八名出席)

十一月 六日 愛媛縣神社廳協議委員会
【愛媛縣神社廳】(和気会長出席)

二十五日 第七回役員会【伊豫豆比古命神社】
(十名出席)

二十五日 三島・森田両烈士慰霊祭
【伊豫豆比古命神社】

(和気会長以下九名奉仕)

二十五日 親月神楽慰労会【松山市】
(十五名出席)

十二月 四日 神道青年四国地区協議会第二回
役員会【香川県神社庁】

(和気会長以下五名出席)

平成十六年

一月 二十日 年頭正式参拝【愛媛縣護國神社】
(和気会長以下七名参列)

二十日 第八回役員会【国際ホテル松山】
(十名出席)

二十日 新年研修会【同 右】
『愛媛県における教育現場の現況』

講師 大津章 章三先生
(二十名出席)

二十日 新年互礼会【同 右】
(三十一名出席：来賓多数)

二月 十一日 建国記念の日奉祝大会
【県内三会場】(各会場役員出席)

二十六日 平成十五年度 神道青年全国協議会
【中央研修会】

【ホテルニューオータニ大阪】
(和気会長以下十名出席)

三月 十日 慰問神楽【宇和島市・八幡幼稚園】
第九回役員会【八幡神社】

(十二名出席)

十六日 靖國松山山地裁判決
(和気会長以下九名出席)

四月 二日 平成十五年度会計監査会
【伊豫豆比古命神社】

(吉田監事・眞鍋監事・和気会長・十事務局長)

愛媛県神道青年会 平成15年度一般会計歳入歳出決算書

自 平成15年4月1日 至 平成16年3月31日

歳入の部

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	増減(△減)	付 記
1 会 費	650,000	666,000	16,000	年会費・定時総会費・新年互例会会費・観月神楽慰労会費
2 助 成 金	200,000	200,000	0	愛媛県神社廳助成金
3 寄 付 金	1,090,000	1,505,000	415,000	県内神職寄付金・諸事業助成金
4 雑 収 入	103,826	456,650	352,824	神青協事業還付金・事業収入(床几頒布他)
5 繰越金	956,174	956,174	0	平成14年度より
歳入合計	3,000,000	3,783,824	783,824	

歳入の部

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	増減(△減)	付 記
1 会 議 費	750,000	836,068	86,068	定時総会・新年互礼会・役員会・観月慰労会・監査会
2 研修教化	550,000	986,000	436,000	観月神楽・慰問神楽・地区協研修会参加費(21名分) 中央研修会参加費(10名分)神青協55周年参加費(5名分)
3 事 業 費	550,000	241,500	△308,500	初詣啓蒙ポスター
4 広 報 費	250,000	254,110	4,110	若竹40号・41号作成・発送・ホームページ拡張費
5 事 務 費	120,000	79,779	△40,221	領収書他事務用品・振替手数料・事務局手当
6 備 品 費	10,000	0	△10,000	
7 旅 費	350,000	240,000	△110,000	神青協出向補助
8 慶 弔 費	50,000	41,225	△8,775	慶弔金・電報代
9 分 担 費	275,000	354,100	79,100	神青協及び地区協醸出金・各種友好団体年会費
10 交 通 費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑 支 出	20,000	16,254	△3,746	神楽奉仕OB御礼品送付
12 予 備 費	25,000	0	△25,000	
歳入合計	3,000,000	3,099,036	99,036	

歳入合計 ￥3,783,824

歳出合計 ￥3,099,036

差引残高 ￥684,788

平成16年度に繰越

平成16年3月31日 愛媛県神道青年会 会長 和気 省一 提出

上記のとおり相違ない事を認めます

平成16年4月2日

監事 吉田 充興 ㊟

監事 眞鍋 豊孝 ㊟

平成十六年度 愛媛県神道青年会 活動計画

本年度における重点目標

- ◎ 広報活動の強化（ホームページの充実・会報「若竹」の発刊）
- ◎ 会員相互の親睦を深める
- ◎ 新規事業の計画

四月 四月 二十二日 二十三日	神青協五十五周年記念式典（明治記念館） 神青協定例総会（神社本庁）	九月 三日	神道青年四国地区協議会第二回役員会（香川県）
五月 十日	定時総会（松山市）	九月	第二十一回観月神楽の夕べ
六月 六月 二日	会報「若竹・第四十二号」発刊 神道青年四国地区協議会第一回役員会（松山市）	九月 下旬	初詣ポスター・神宮大麻発送作業
七月 二十日 二十一日	神青協夏期セミナー（神社本庁）	十一月 十一月二十五日	神道青年四国地区協議会第三回役員会 三島・森田両烈士慰霊祭
八月 四日 五日	神道青年四国地区協議会第十回総会 研修会（徳島県）	一月	新年研修会・互礼会
八月 二十四日 二十五日	野外体験（高知県四万十川）	一月	会報「若竹・第四十三号」発刊
九月 二日	神道青年四国地区協議会 第七回神道行法鍊成会（香川県）	三月 二十三日 二十四日	平成十六年度「神宮研修会」（伊勢神宮）

愛媛県神道青年会 平成16年度一般会計歳入歳出予算書

自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31

歳入の部

単位：円

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	650,000	650,000	0	年会費・新年互礼会費他
2 助成金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄付金	1,090,000	1,300,000	210,000	県内神職寄付金・行事助成金
4 雑収入	103,826	275,212	171,386	神青協事業還付金・事業収入
5 繰越金	956,174	684,788	△271,386	平成15年度より
歳入合計	3,000,000	3,110,000	110,000	

歳入の部

単位：円

項 目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会議費	750,000	750,000	0	総会・役員会・新年互礼会 他
2 研修教化	550,000	550,000	0	観月神楽・慰問神楽・新年研修会・各種研修会参加助成他
3 事業費	550,000	700,000	150,000	初詣啓蒙ポスター・床几頒布事業
4 広報費	250,000	250,000	0	若竹発刊「第42号」「第43号」、HP拡張費
5 事務費	120,000	100,000	△20,000	領収書他事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備品費	10,000	10,000	0	
7 旅 費	350,000	300,000	△50,000	神青協総会・神青協役員旅費補助 他
8 慶弔費	50,000	50,000	0	慶弔金・電報代
9 分担費	275,000	305,000	30,000	神青協及び地区協議会・各種友好団体年会費
10 交通費	50,000	50,000	0	会長手当
11 雑支出	20,000	20,000	0	
12 予備費	25,000	25,000	0	
歳入合計	3,000,000	3,110,000	110,000	

歳入合計 3, 1 1 0, 0 0 0 円
 歳出合計 3, 1 1 0, 0 0 0 円
 差引残高 0 円

平成16年4月8日 愛媛県神道青年会役員会提出

【助成金】

金貳拾萬圓也

愛媛縣神社廳殿

【平成十五年度寄付助成〆芳名】

(順不同)

東予地区

金壹拾萬圓也

石鎚神社

十亀 興美 殿

金伍萬圓也

大山祇神社

三島 喜徳 殿

金參萬圓也

一宮神社

矢野 哲夫 殿

金貳萬圓也

神社庁

新居浜市支部殿

千足神社

眞鍋 惺士郎 殿

多伎神社

沼崎 守文 殿

金壹萬伍仟圓也

田中神社

馬越 将文 殿

金壹萬圓也

神社庁

大三島支部 殿

神社庁

西条支部 殿

潮早神社

周桑支部 殿

白山神社

浅海 宜英 殿

白山神社

大岡 益子 殿

萩岡神社

大岡 忠臣 殿

金壹萬圓也

吹揚神社

石岡神社

橘新宮神社

三嶋神社

嘉母神社

大浜八幡大神社

今宮神社

村山神社

熊野神社

綾延神社

生名八幡神社

飯積神社

大井八幡大神社

三島神社

玉生八幡神社

風伯神社

金伍仟圓也

石土神社

金生八幡宮

八幡大神社

三皇神社

喜多浦八幡大神社

高浜八幡神社

田窪 多理甫 殿

越智 基晃 殿

高橋 佳幹 殿

堀川 泰規 殿

石川 獺見 殿

桧垣 莊次 殿

佐藤 伊都男 殿

榊田 三雄 殿

田邊 捷 殿

森 正康 殿

西村 純子 殿

葛城 光彦 殿

櫛部 浄文 殿

垂水 隆昌 殿

平田 彰 殿

矢野 正實 殿

長 敏康 殿

合田 正士 殿

安藤 潔 殿

熊本 真克 殿

馬越 祥穂 殿

龜山 和麿 殿

金伍仟圓也

奈良原神社

奈良原神社

石戸八幡神社

金參仟圓也

黒嶋神社

上分神社

弓削神社

土居神社

岩城八幡神社

中予地区

金壹拾萬圓也

伊豫豆比古命神社

金伍萬圓也

愛媛縣護國神社

金參萬圓也

神社庁

金貳萬貳仟圓也

神社庁

金貳萬圓也

神社庁

大宮八幡神社

厳島神社

伊豫稻荷神社

竹之内志磨子 殿

馬越 和紀 殿

和田 俊一 殿

近藤 史孝 殿

熊本 真克 殿

川原 啓三郎 殿

矢野 耕一郎 殿

八原 敬睦 殿

長曾我部延昭 殿

波爾 莊 殿

松山支部 殿

伊予支部 殿

久万支部 殿

眞鍋 和敏 殿

柳原 宰 殿

星野 暢廣 殿

金老萬圓也

神社庁

三島神社

三島神社

桑原八幡神社

雄郡神社

還熊八幡神社

金刀比羅神社

井手神社

波賀部神社

高家八幡神社

恵依彌二名神社

金伍阡圓也

天満神社

當田八幡神社

阿沼美神社

三島神社

船越和氣比売神社

廣田神社

正八幡神社

徳威三嶋宮

川上神社

住吉神社

小田支部

横田 清光

能田 隆三

石丸 典良

高市 誠司

玉井 次明

山下 幸志

横田 貞子

武智 彰宏

都子野 清明

高市 慶久

伊豫稻荷神社殿

武智 成保

額田 重則

大内 信麿

高市 俊次

重松 長英

武智 盛明

重松 讓

別府 頼房

野口 泰治

辻田 正明

金伍阡圓也

諸山積神社

伊曾能神社

八坂神社

伍社天神社

新田八幡神社

新田神社

三島神社

天満天神社

立石神社

南山神社

阿沼美神社

高岸三島神社

天一稻荷神社

金參阡圓也

客王神社

南予地区

金七萬圓也

和霊神社

金貳萬圓也

神社庁

神社庁

神社庁

神社庁

八幡神社

武智 昭彦

武市 盛幸

都築 芳憲

都築 芳憲

都築 芳憲

都築 芳憲

都築 芳憲

都築 芳憲

都築 芳憲

田内 逸和

武智 啓

武智 純二

二神 通訓

三輪田 元亮

宇和島市支部殿

宇和海支部殿

八幡浜市支部殿

西宇和郡支部殿

吉岡 太瑯

金老萬圓也

三島神社

稻荷神社

三島神社

宇都宮神社

金伍阡圓也

神社庁

大元神社

多賀神社

天満神社

三嶋神社

黄幡神社

松浦 正樹

高市 節子

田中 清之

森本 隆夫

南宇和郡支部殿

井上 直隆

久保 浩丸

宮本 稚秋

今城 幸人

青木 武司



【定時総会御祝金】

金式萬圓也

朝日八幡神社

田内 一弘 殿

金老萬圓也

伊豫豆比古命神社

長曾我部延昭殿

和霊神社

三輪田 元亮殿

愛媛縣護國神社

波爾 莊 殿

大宮八幡神社

眞鍋 和敏 殿

嚴島神社

柳原 宰 殿

伊豫稻荷神社

星野 暢廣 殿

客王神社

二神 良昌 殿

櫛玉比売命神社

井上 貞人 殿

愛媛県女子神職会殿

金伍阡圓也

高忍日売神社

後藤 正宜 殿

愛媛縣神社廳殿

【観月神楽の夕べ御祝金】

金老萬圓也

石鎚神社

愛媛縣神社廳殿

伊豫豆比古命神社

十亀 興美 殿

長曾我部延昭殿

【臨時総会・新年互礼会御祝金】

金式萬圓也

八幡神社

清家 貞宏 殿

金老萬圓也

伊豫豆比古命神社

愛媛縣神社廳殿

三島神社

松浦 正樹 殿

愛媛縣護國神社

波爾 莊 殿

大宮八幡神社

眞鍋 和敏 殿

嚴島神社

柳原 宰 殿

伊豫稻荷神社

星野 暢廣 殿

櫛玉比売命神社

井上 貞人 殿

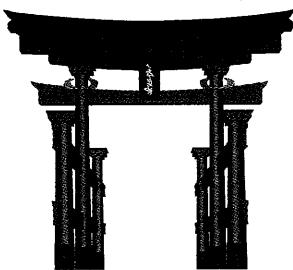
朝日八幡神社

田内 一弘 殿

三島神社

吉田 充邦 殿

愛媛県女子神職会殿



チラシ・ポスター・パンフレット等
各種印刷物お取り扱い致します。

首 藤 印 刷 所

代表者 首藤昭夫

〒793-0030 西条市大町1517-2

電話・FAX 0897-55-3189

～愛媛県神道青年会主催～

『四万十川体験親睦会』



と き

平成16年8月24日(火) 先負～25日(水) 仏滅

と こ ろ

高知県幡多郡十和村(松山インターからおよそ2時間半)

趣 旨

日本最後の清流といわれる高知県四万十川の自然に触れ合うと共にその厳しさを体験しながら会員相互の親睦はもとより会員の家族子弟を含めた親睦を深めることを目的とする。

参加資格

愛媛県神道青年会役員・会員・OB、またその家族・子弟、当県神社界に携わる者

参加資格

同封の申込用紙にご記入の上、ファックスにてお申込ください。
Fax番号 0897-55-7242(石鎚神社内 愛媛県神道青年会事務局)

概 要

8月24日: 夕刻(不定時) 高知県幡多郡十和村井崎 井崎集会所 集合
懇親会開催一宿泊
(畳の大部屋二部屋あり・駐車場あり・空調あり・台所あり)

8月25日: 午前10時～カヌー・カヤック講習 基礎講習後、希望者は川下り。
高知県幡多郡十和村昭和交流センター前
(芝生の広場あり・トイレ・食堂あり・幼児の水遊びに適)
午後4時前閉会

※ 基本的に雨天決行ですが予想を越える状態(台風・災害など)の場合は安全確保の為に中止する場合があります。(24日から参加の皆様には上記の様な場合は「松野町・おさかな館・三間町みちの駅睦地梅太郎美術館・宇和町歴史博物館見学などの予定があります。)

注意事項

宿泊場所や交通手段に多少の不便をおかけするとは思いますが御了承下さい。また会よりの補助を超える予算の取り扱いについては参加者全員での分担となります事をご理解下さい。予算の目安に関しましては左記の項目をご参照下さい。尚開催地までの交通費等は自己負担となります。



必要経費

ご負担いただく経費に関しましては下記の項目をご参照下さい。尚
参加人数によってその負担額が変わりますのでその点を御了承下さい。

《大人1人当たりの自己負担額の目安》

日	内 容	負担金額	内 訳 等
24	懇親会	0	バーベキュー、その他飲食代
	集会所宿泊代	1,000	1人当たり
25	カヌー・カヤック講習	4,000 ～5,000	レンタル料・講習料・保険料
	昼食代	1,000	
自己負担額 合計		6,000 ～7,000	

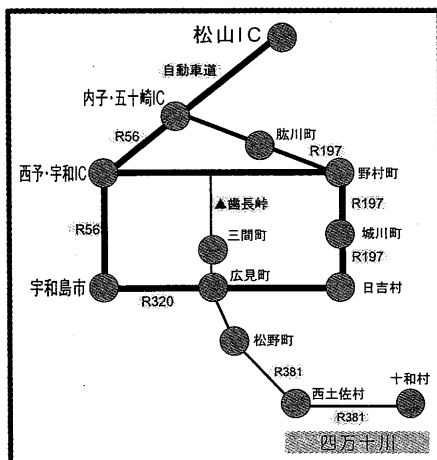
必要品

宿泊場に布団はございませんのでタオルケットやその他寝具をご用意下さい。その他、着替え・洗面用具・メガネの方はメガネバンド・コンタクトの方は水中メガネ（カヌー講習時に必要）・その他個人で必要なものをご用意下さい。

その他

愛媛県神道青年会主催ではありますが参加者全員で作り上げる行事ですので皆様の寛大な心でのご協力をお願い申し上げます。

また、カヌー・カヤックに関しましてはスクール会社のインストラクター、並びに神道カヌー連盟の経験者が補助致します。保険に関してはスクール会社に一任致しまして参加者全員にかけさせていただく予定です。カヤック（一人乗りの艇）・インフレータブルカヌー（ゴムボート状のカヌー）・ラフト（大きなゴムボート）など準備する予定ですので、お子様と一緒に遊べます。選艇は可能な限り参加者の希望に添う様に致します。ご不明な点やお問い合わせがありましたら下記にご連絡下さい。

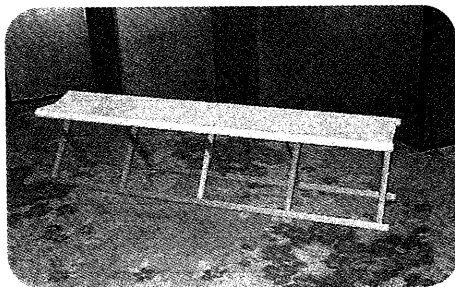
**お問い合わせ**

- ◆愛媛県神道青年会 四万十川体験懇親会実行委員長
小 野 090-5915-0990
- ◆愛媛県神道青年会 四万十川体験懇親会実行委員会主任
一 宮 0894-36-1815
- ◆愛媛県神道青年会事務局 石鎚神社
十 亀 0897-55-4044
- ◆愛媛県神道青年会ホームページ

<http://www.ehimeshinsei.net>

頒布品の御案内

四人掛床几



ご注文・お問い合わせは

長さ 180センチメートル
幅 33センチメートル
高さ 44センチメートル
※耐水幌布使用

◆一脚 17,000円◆

愛媛県神道青年会

〒七九三―八五五五

西条市西田甲七九七

石 鎚 神 社 内

事務局 十亀博行

電話 ○八九七・五五・四〇四四
FAX ○八九七・五五・七二四二

武知秀忠君 ご結婚おめでとうございます

去る平成十六年三月二十八日、武知秀忠理事と和恵さんが、正友神社拝殿において、婚礼の儀が執り行われ、松山JALシティにおいて結婚披露宴が盛大に行われました。



ご覧のとおり
幸せそうな二人です。
いつまでもお幸せに。



編集後記

平成十六年度は、当会の諸事業を発展させ、一歩踏み込んだ活動を展開できるよう努力していく所存でございます。先輩諸氏のご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

(編集者)